

公 共

対象クラス	第1学年 全科	単位数	2
使用教科書	高等学校 公共 これからの社会について考える(数研出版)		
使用副教材	公共整理ノート(数研出版)、最新図説公共(浜島書店)		

「公共」とはこんな科目です
 「公共」とは、政治・社会の主体となるために不可欠な知識を学び、そのための能力を身につけることを目指す科目です。

科目の到達目標(目標とする検定等)
 人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究する。また、諸課題を解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。

評価の観点	割合	評価規準・評価内容	評価の場面・方法等
知識・技能(技術)	4	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	・小テスト ・整理ノート ・定期考査
思考・判断・表現	3	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用する能力を養う。事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	・レポート課題 ・ワーク(振り返り)シート ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	3	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	・レポート課題 ・ワーク(振り返り)シート ・授業時の議論の様子 ・アンケート提出

学習計画(どのような内容を、どのような時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	公共的な空間をつくる私たち	生活のなかの公共	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解し、自己形成の課題について考える。 ・社会は様々な背景をもつ多様な人々から成り立っていることを理解し、様々な立場に立って共感的に他者の思いを受け入れられるようにする。 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、公共的な空間を作る主体としての自己の生き方について考察する。
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【前期中間考査】	西洋近現代の思想	
前期期末	公共的な空間における基本原理	現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。 ・公共的な空間における基本原理について理解し、個人と社会の関わりを多面的・多角的に考察する。 ・日本国憲法の基本原理や保障されている権利を理解し、自らの生き方と権利を結びつけて考える。
	【前期期末考査】	民主社会の基本原理 日本社会の基本原理	
後期中間	ルールをつくり守る私たち	法と契約 司法参加の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・法や規範の意義や役割を理解し、身近な契約について考える。 ・司法に関心を持ち、公正な裁判には国民の参加が大切であることを理解する。また、裁判員制度の仕組みを理解し、積極的に参画する自覚を持つことができる。 ・民主政治を支える制度を理解し、選挙に積極的に参加するなど主権者としての自覚を持つことができる。 ・国際問題について日常から関心を持ち、自分の意見を他者に説明できる。
	政治に参加する私たち 【後期中間考査】	政治参加と民主政治の課題 国際政治の動向 国際政治の課題と日本の役割	
学年末	経済活動を行う私たち	経済のしくみと産業の変化 市場経済のしくみと金融 財政と社会保障 国際経済の動向と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会について理解し、自身の進路や職業選択について考える。 ・市場経済のメカニズムが理解できる。 ・政府が経済に果たす役割を理解し、日本経済の課題解決について考える。 ・国際経済の仕組みを理解し、日本経済や日常生活への影響を考察し、課題克服のために、私たちに何ができるかを考える。
	課題探究 【学年末考査】	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	